

1. 背景

こども基本法に基づき、本県においても、「(仮称) 奈良県こどもまんなか未来戦略」(※)を令和6年度中に策定する必要がある。

※ こども基本法において策定が規定(努力義務)されている都道府県こども計画

《国の動き》

- R5. 4. 1 「こども基本法」を施行し、「こども家庭庁」を設置
- R5. 6. 13 「こども未来戦略方針」を閣議決定
- R5. 12 「こども大綱」を閣議決定

2. 戦略の期間・推進体制等

- | | |
|--|---|
| <p>(1) 期 間 令和6年6月以降(※)～令和11年3月31日
(※ 開始時期は現時点では未定)</p> <p>(2) 推進体制 奈良県こども・子育て推進本部
(本部長：知事、
副本部長：副知事、
本部員：関係部局長・次長)</p> <p>(3) 評価・点検 奈良県こども・子育て支援推進会議</p> | <p>(4) 性格・位置づけ
以下の法令等に規定された計画として<u>一体的に策定</u>
(②～⑦については、各計画の次期改定時に統合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① <u>こども基本法</u>：「都道府県こども計画」 ② 次世代育成支援対策推進法：「都道府県行動計画」(R6年度まで) ③ 子ども・子育て支援法：
「都道府県子ども・子育て支援事業支援計画」(R6年度まで) ④ 子ども・若者育成支援推進法：「都道府県子ども・若者計画」(R6年度まで) ⑤ 子どもの貧困対策の推進に関する法律：「都道府県計画」(R8年度まで) ⑥ 母子及び父子並びに寡婦福祉法：
「ひとり親家庭等自立促進計画」(R8年度まで) ⑦ 奈良っ子はぐくみ条例：「実施計画」(R7年度まで) |
|--|---|

3. これまでの経過と今後の予定

	令和5年度			令和6年度
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
議会報告		●12月議会(委員会)へ 中間整理の報告	●2月議会(委員会)へ 骨子案の報告	●報告
奈良県こども・子育て推進 本部会議等	7/31 第1回	10/20 第2回	○ 第3回	○ 第4回

パブリックコメントの
後に策定・公表

(仮称) 奈良県こどもまんなか未来戦略の中間整理について

- こども(Child)、親(Parent)、こども・親を取り巻く様々な環境(Surroundings)の分類のもと部局横断で課題を整理し、下記のとおり取組方針(案)①～⑨を設定。
- この9つの取組方針(案)に基づき、関係部局より147件の取組が提案された。
- それらの提案について、令和6年度予算については、奈良県こども・子育て推進本部の事務局が意見を付して予算編成を実施予定。主な施策については以下のとおり。

取組方針① 若い世代、ひとり親世帯の所得の向上

《新規》 新たに取り組む予定の内容を記載
《拡充》 現在実施している取組を拡充する取組

- 《拡充》 企業が求めるデジタルの人材ニーズに応じた訓練を行い、企業が求める知識・能力を有する人材を育成
- 《拡充》 若者に県内企業の魅力を知ってもらい、県内就労と定着を促進する取組を実施
- 《拡充》 従業員の奨学金返還を支援する県内企業に補助金を支給することで、県内就労を促進

取組方針② 男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備

- 《新規》 子育て中の女性など、就労に踏み出せない女性に対して、有給インターン制度を設けるとともに、リスキリングや企業のコンサル支援などにより、女性の正規雇用を促進
- 《拡充》 女性デジタル人材を育成し、柔軟な働き方ができる、生産性・賃金の高い働き先を提供することにより、在宅ワークによる女性の就労と県内企業のDXを促進
- 《拡充》 働き方改革の一環で、県庁の男性職員が「育休取得、短時間勤務、フレックスタイム、テレワークなど多様な働き方のメニューを活用し、子育てに関与する率100%」を実現

取組方針③ ジェンダーギャップの解消を始めとした社会全体の意識・構造の改革

(結婚やこども・子育てに対する負担感を解消しあたたかい社会の意識を醸成)

- 《新規》 結婚、子育てなどにポジティブなイメージを持てる動画を県民から募集し、優秀作品を表彰するとともに、県も啓発動画を作成し、中高生が親しむSNS等で発信
- 《新規》 若い世代が自分の希望に添ったライフイベントを描くことができるよう、必要な知識や情報を総合的に習得できるコンテンツを作成し、インターネット配信等を実施
- 《新規》 結婚、妊娠、出産、子育て等に関する様々な情報を一元化して発信するとともに、奈良県の教育や子育て環境が充実していることを県外にもPR

(仮称) 奈良県こどもまんなか未来戦略の中間整理について

取組方針④ 個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目の無い支援（場所、専門家、仕組み、費用）の充実

- 《新規》結婚コンシェルジュを配置し、市町村や企業等が実施する結婚を支援する取組への助言、団体間の連携した取組への支援及び県民への相談を実施
- 《新規》不妊に悩む方への支援制度を創設し、保険適用外の先進医療等にかかる治療費の助成等の事業を実施
- 《拡充》子育て家庭が困りごとを入力すれば、それに応じてプッシュ型で情報提供される「奈良っ子はぐくみアプリ」の拡充

取組方針⑤ 困難な状況に置かれているこども、子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実

- 《新規》児童相談所の専門職員のキャリアプラン構築などの体制整備
- 《拡充》ヤングケアラー支援室におけるSSW・SCの増員

取組方針⑥ こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備

- 《新規》市町村が実施する保育士の処遇改善の取組を支援するとともに、処遇改善の結果を公表することにより民間保育所等における保育士給与等の透明化を促進
- 《拡充》教員の負担軽減のため「教員業務支援員」、「部活動指導員」、「学習指導員」等の配置の拡充

取組方針⑦ 妊娠や出産、こども、子育てを支える保健医療提供体制の充実

- 《新規》高校生までの子ども医療費の助成について、後日償還される方式から、医療機関での窓口負担を要しない現物給付方式に変更
- 《新規》県内の産後ケア事業の先行取組事例の情報提供を行い、未実施市町村に対し意識付けを実施

取組方針⑧ こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり

- 《新規》まほろば健康パークの公園拡張整備において、整備範囲の一部で、機能の一つとして障害の有無にかかわらず楽しく安全に遊ぶことの出来るインクルーシブ広場の整備について検討
- 《新規》県営住宅のリノベーション等による子育て世帯向け住戸の供給に向けた検討

取組方針⑨ こども・若者の視点に立った施策の立案と推進

- 《新規》「(仮称) 奈良県こどもまんなか未来戦略」策定時にこども向けパブリックコメントの実施